

竹物取語

六十編

山東菴京山老人作
錦朝樓芳虎画



甲寅新雕

錦森堂文庫

へ 13

3690

16





鳥
飛

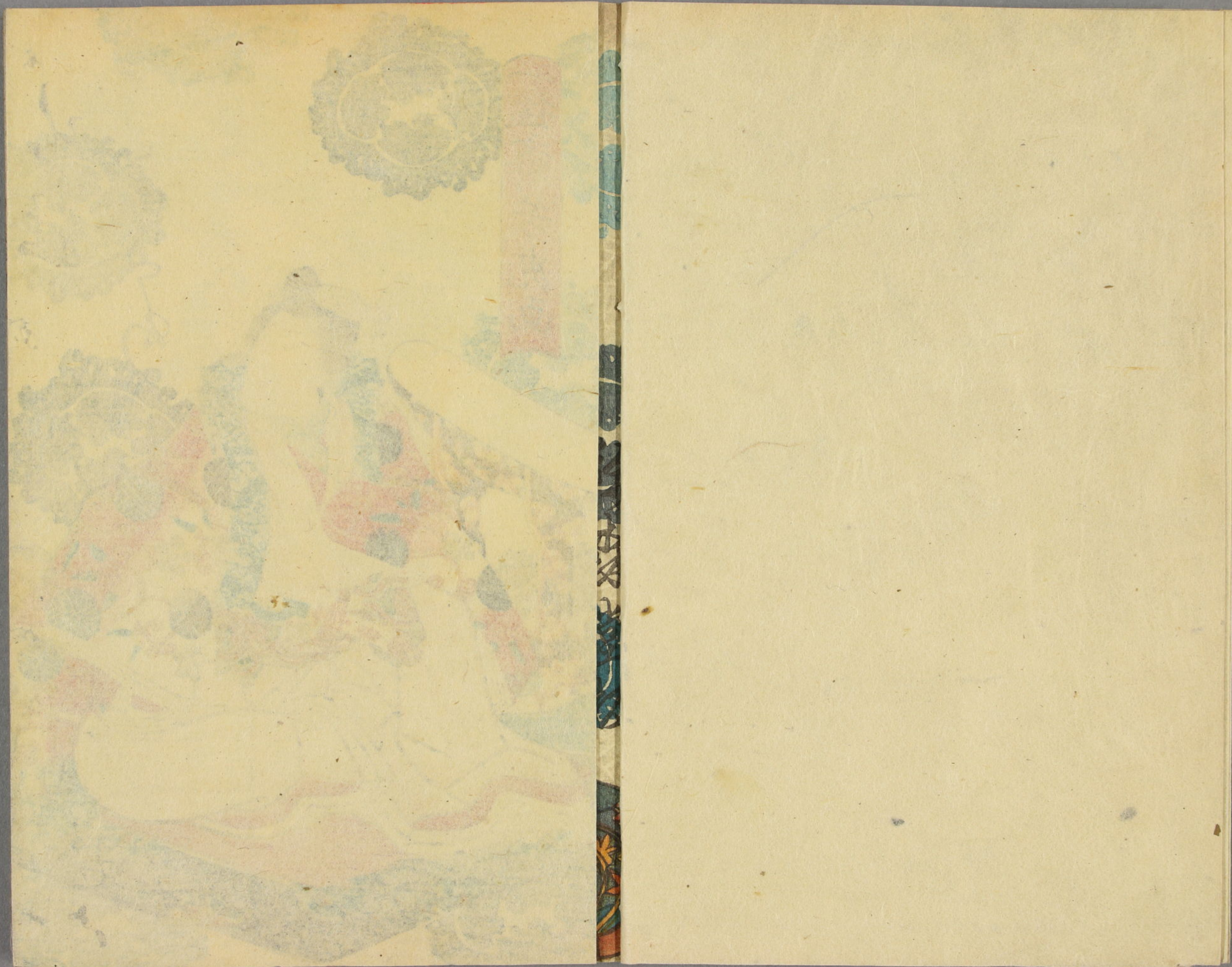
丹
也
向
里

鳥
の
鳴
り

十
六
海
上

よ
う
さ
さ
き
急

森
治
作
畫



一猛齋芳虎画

十六編下



依取

京山老人作

十六編上



明へ13
3690
巻16

此竹取物語よ天保八年酉の春の稿本を錦森堂
開板する所も夢うやむをの事十八年歳く小二編
三編の竹の子生むとぞあとも又一本を出し十六
編の枝葉繁し海まよひはし一う名を襲ひる所
順朝臣竹取の竹のわがやく赫奕姫のあまを顔
出さるるありて作者の下手ある志ッかをあや
昼狐の逃道小迷ひてあぬ横道をたどるりこそ
いまいさゝの程のあゝと猶此十六編ははけて
あさねの竹取をも編出したもの

嘉永

六年癸丑仲春稿本
八十五歳
同年初冬開板發行

山東菴京山





○吉田の公達
梅若丸

○京都吉田家
清川の老女

吉田
家の重臣

山田
三郎

○大磯の
妓楼

月花楼
清兵衛娘おせん

○梅若丸の
山中家臣
熊五郎

○医師
風田朗庵娘おせん

鎌倉

戸川花

の侠客
五尺漆五郎

清兵衛

月花楼

○竹取

お拾ひの
赤竹の
姫





まじりも傳三

つぎきよ川一つらの
 きよきをいりてまの
 ちしきをいりてまの
 こころのちしきをいりてまの
 まうとハれおほよりきよ川ハ
 としころおほよりきよ川ハ
 りるかきよ川ハ

①きよとあひり
 おおはせんじや
 まうとハれ
 おほよりきよ川ハ
 りるかきよ川ハ

④京へまうとハれ
 あせむの武
 人のちしきをいりてまの
 きよ川ハ
 おおはせんじや
 まうとハれ
 おほよりきよ川ハ
 りるかきよ川ハ

月花や女房

むすめのおほよりきよ川ハ
 きよきをいりてまの
 ちしきをいりてまの
 こころのちしきをいりてまの
 まうとハれおほよりきよ川ハ
 としころおほよりきよ川ハ
 りるかきよ川ハ



お百
 月花や女房
 きよ川ハ
 おおはせんじや
 まうとハれ
 おほよりきよ川ハ
 りるかきよ川ハ

①おおはせんじや
 まうとハれ
 おほよりきよ川ハ
 りるかきよ川ハ

風田のりや娘誓ん
月夜娘をへま
つらある

つきひまをへ
久しぬ
お百と
つひまけ
ひとやりと
おまごころしき
ぬきごころり
切しんとあ
けはは法へ
あつてあつとあ
つてあつとあ
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり

山中徳五郎



月夜娘
おせん

金百両

①おせんが
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり

おせんが
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり

月夜
おせん



法へ
おせん

おせん

おせんが
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり
おまごころり

嘉永七甲寅春新版目録

<p>櫻姫傳草帛</p> <p>同 同 作 画</p> <p>初編 出版</p>	<p>うとぶ物語</p> <p>同 同 作 画</p> <p>三編 四編 五編</p>	<p>朝顔物語</p> <p>同 同 作 画</p> <p>五編 六編 七編</p>	<p>竹取物語</p> <p>歌川芳虎画</p> <p>十六編 十七編 十八編</p>
<p>竊問屋</p> <p>地本 草紙</p> <p>活鳥屋 錦森堂 森屋治兵衛</p>	<p>再茲相馬舊評</p> <p>同 同 作 画</p> <p>二編</p>	<p>須磨の浦石白浪</p> <p>房種 画</p> <p>初編 二編</p>	<p>長壁狐娘新談</p> <p>西馬 芳虎 画</p> <p>三編 四編</p>

竹取 十六



つぎむすめがから月
 一ぬちりぬもちすぢの
 あまごころあまをよ
 ひがのこのあびを
 みる月もちの
 あまごころの
 ぎろの糸くも
 たのむらひ
 あまの
 ちてとまが
 るのまのり
 とるもももろ人
 男あまよあま
 多まのたのまも
 めくひあまのまも
 せむらまあまのまも
 むすめがから月
 十七八のつとまの花むらうの
 うせのむらひもあまの人もあまの
 あまのむらひもあまのむらひも
 どのりともあまのむらひもあまの
 こころあまのむらひもあまの
 ひがのせくまよあまの
 あまのむらひもあまの
 小紐をぬくしけり

京山老人作
 歌川芳虎画

竹取禪

第六編下



山東菴系山作

秋川芳虎画



竹取物語十六編下巻

九段

三日月が去りしやうある

ひんがしのあけききま

けのぐやの

かまぼくの

かまぼくの

かまぼくの

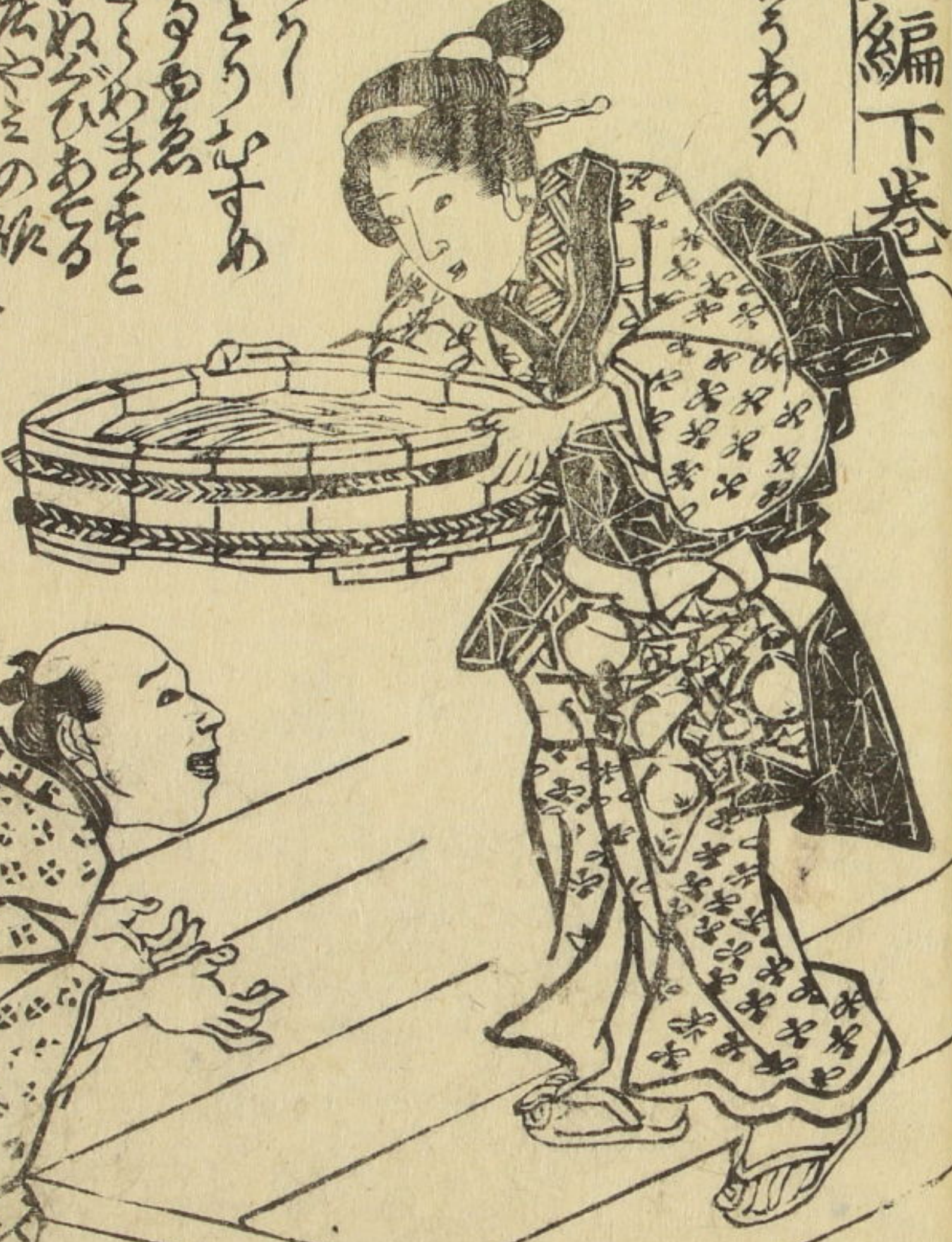
かまぼくの

かまぼくの

かまぼくの

かまぼくの

かまぼくの



竹取物語

二

七の...の...
 母かす...
 の...
 の...
 の...
 の...

母かす...
 の...
 の...
 の...
 の...



らうおん
 娘おせん

らうおん...
 の...
 の...
 の...

竹枝廿六

母かす
 上人の
 つまもの
 へん

① 月夜のむすめおらん
 月夜のむすめおらん
 月夜のむすめおらん
 月夜のむすめおらん
 月夜のむすめおらん

② 月夜をうめ
 月夜をうめ
 月夜をうめ
 月夜をうめ
 月夜をうめ

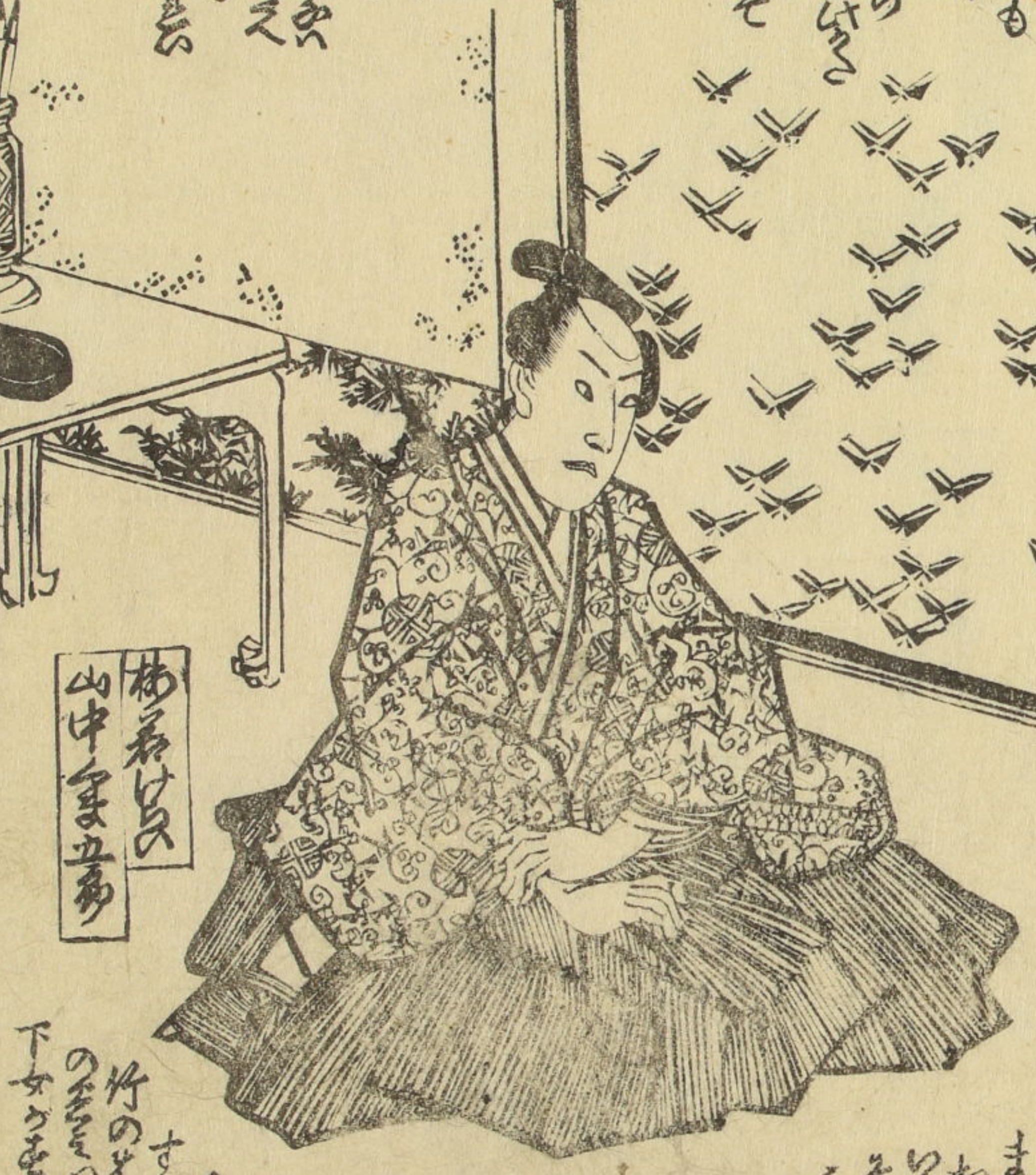


③ 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり

④ 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり

月田らうあん

⑤ 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり



山中まよあ

⑥ 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり
 月夜あり

きくあぐりねあふるもか
まじにまげてまふあの中よあ
あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

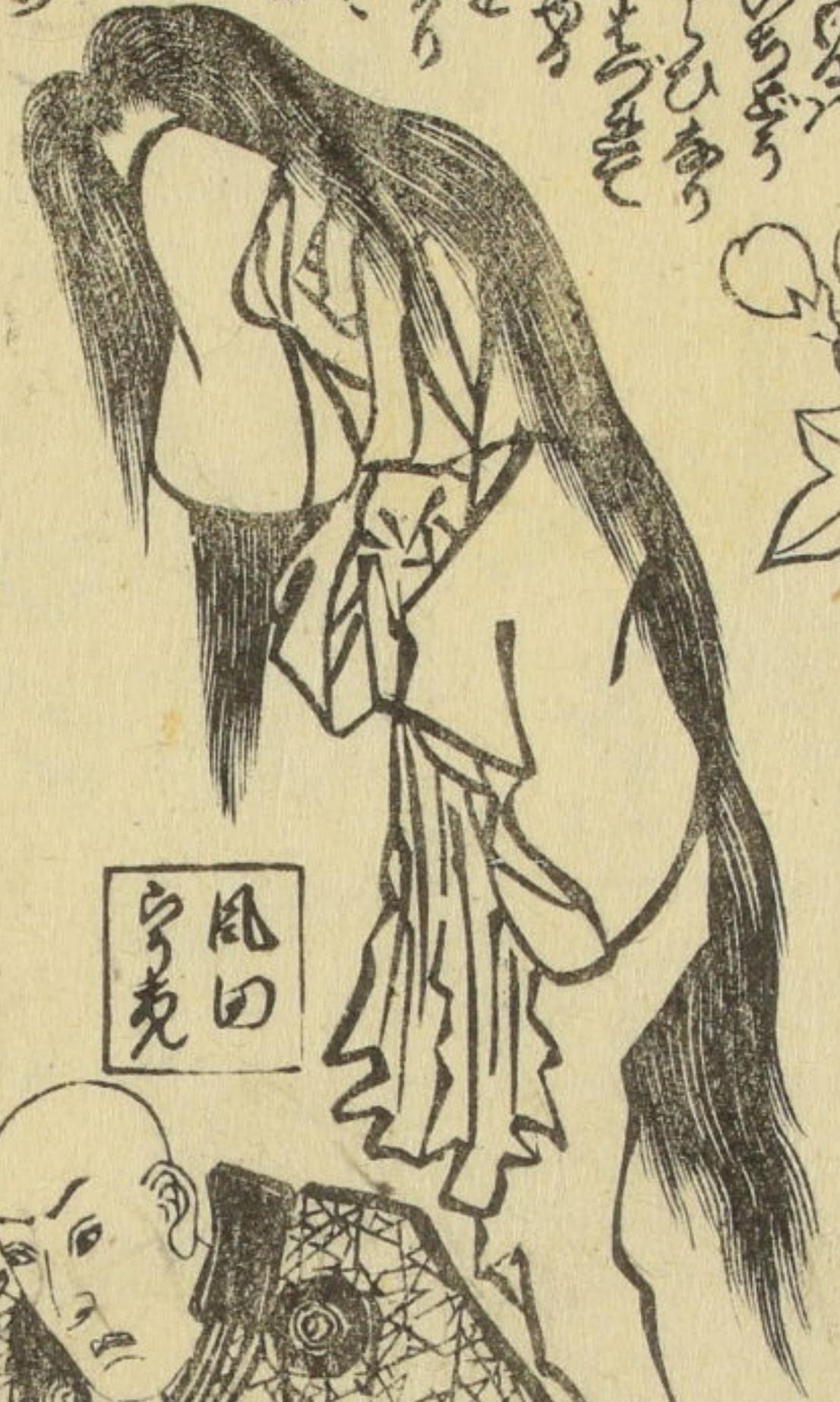
あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま

あつこあま
あつこあま
あつこあま



風回
うた



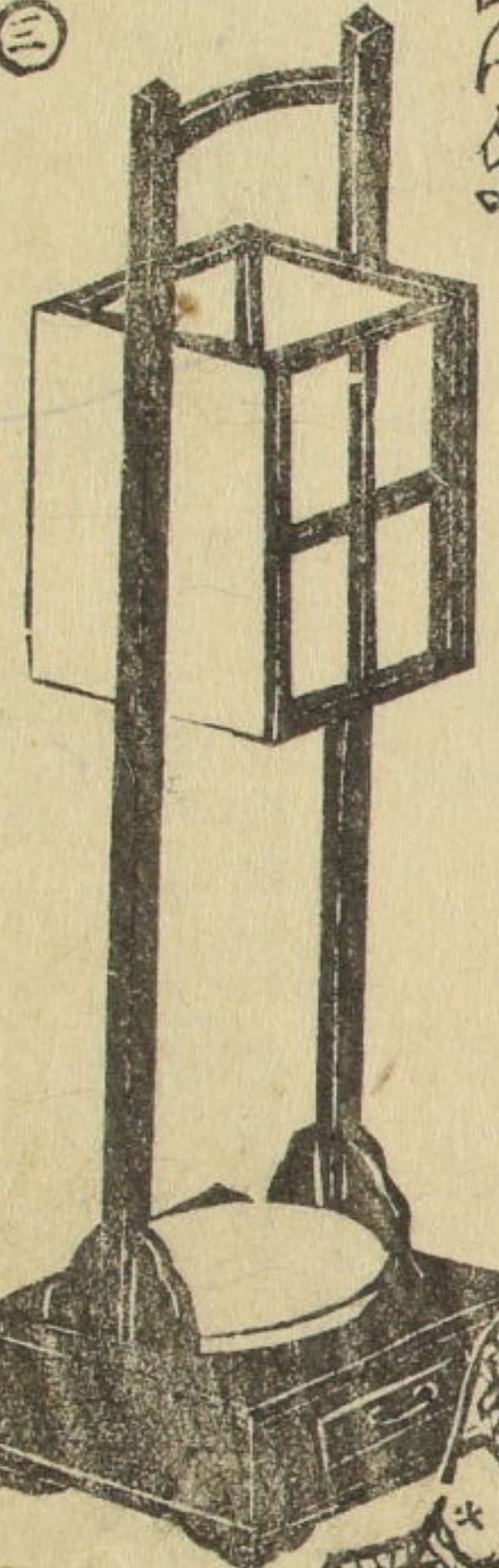
めんご



山中まゐり



月苑や
おせん



きくあぐりねあふるもか

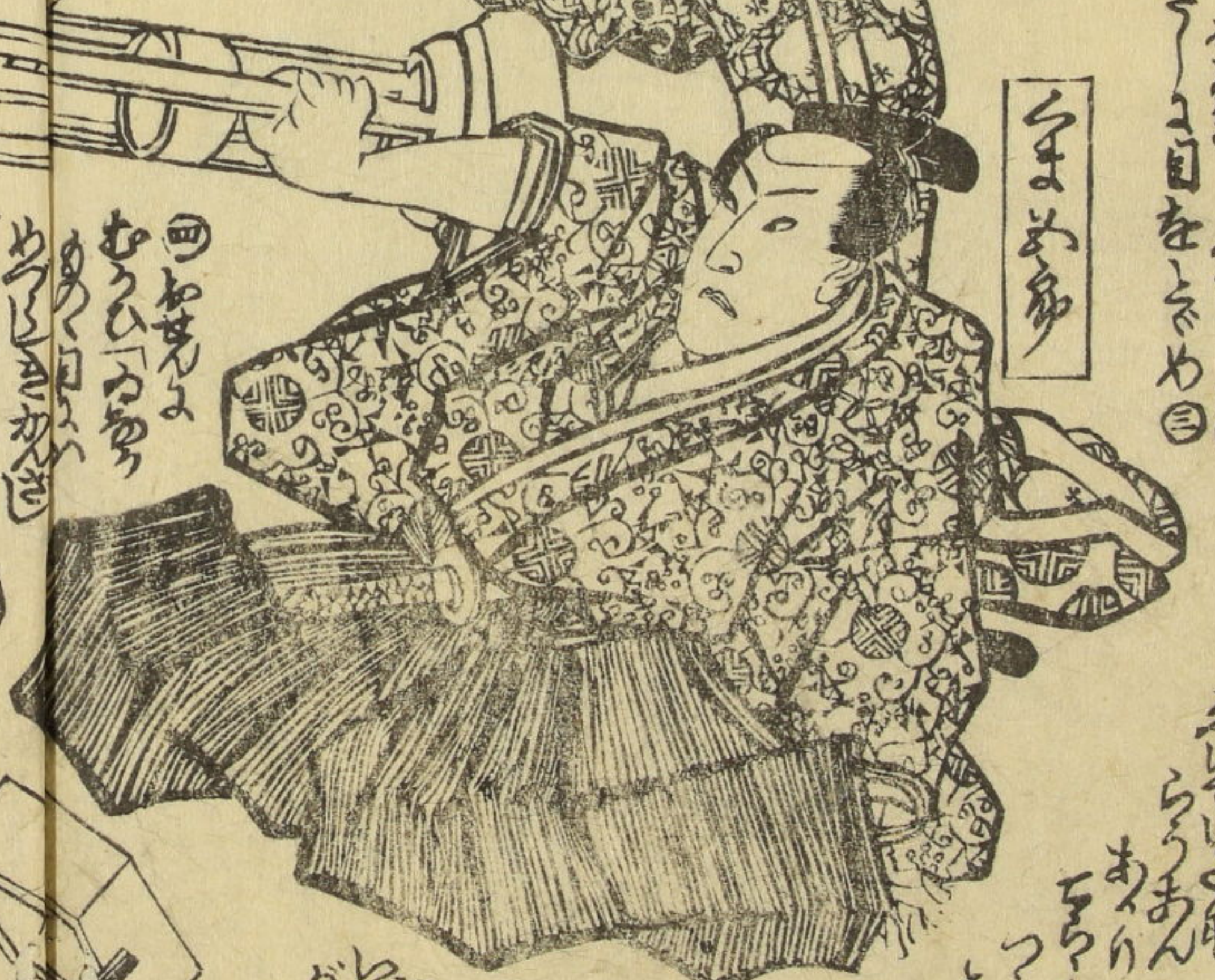
お見
お見のまはりの...
お見のまはりの...
お見のまはりの...



①あつらひ...
これらも...
おせんが...
えんぎ...

くまめ節

お見
お見のまはりの...
お見のまはりの...
お見のまはりの...



あつらひ...
これらも...
おせんが...
えんぎ...

お見
お見のまはりの...
お見のまはりの...
お見のまはりの...

お見
お見のまはりの...
お見のまはりの...
お見のまはりの...



あつらひ...
これらも...
おせんが...
えんぎ...

おせんがうらや
らうわんがうらや
ありくとまを
きえうけり
うらやん
らうわん
さそい
おせん

おせん

らうわん

おせんがうらや
らうわんがうらや
ありくとまを
きえうけり
うらやん
らうわん
さそい
おせん

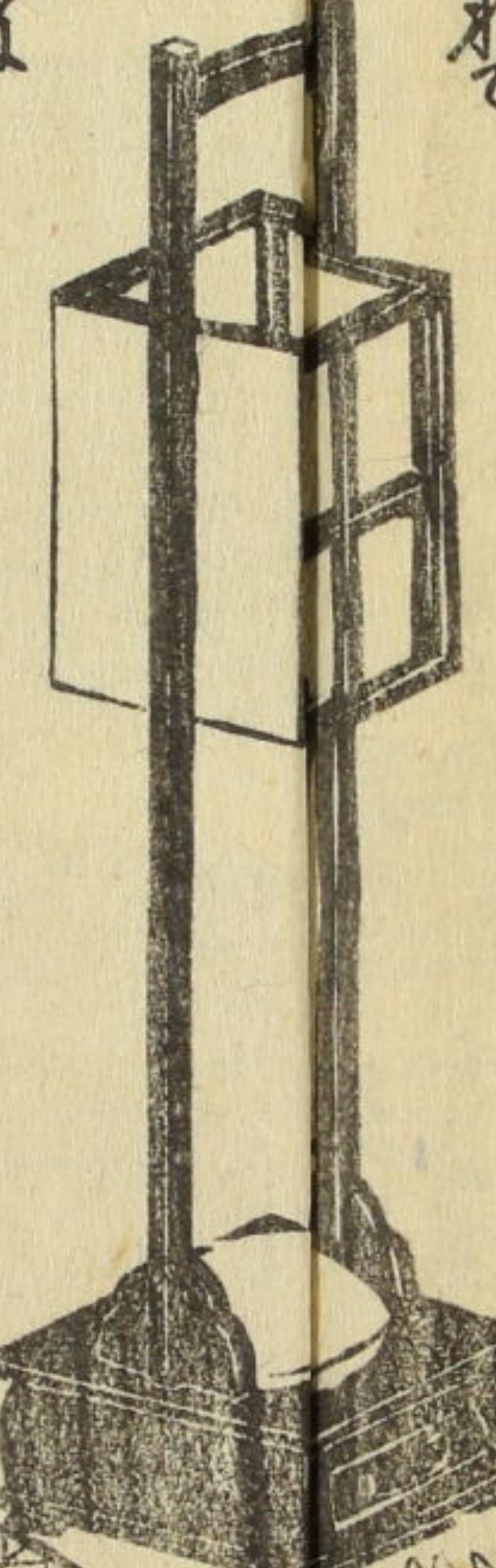
おせんがうらや
らうわんがうらや
ありくとまを
きえうけり
うらやん
らうわん
さそい
おせん

下へ吉六



おせんがうらや
らうわんがうらや
ありくとまを
きえうけり
うらやん
らうわん
さそい
おせん

おせんがうらや
らうわんがうらや
ありくとまを
きえうけり
うらやん
らうわん
さそい
おせん



おせんがうらや
らうわんがうらや
ありくとまを
きえうけり
うらやん
らうわん
さそい
おせん

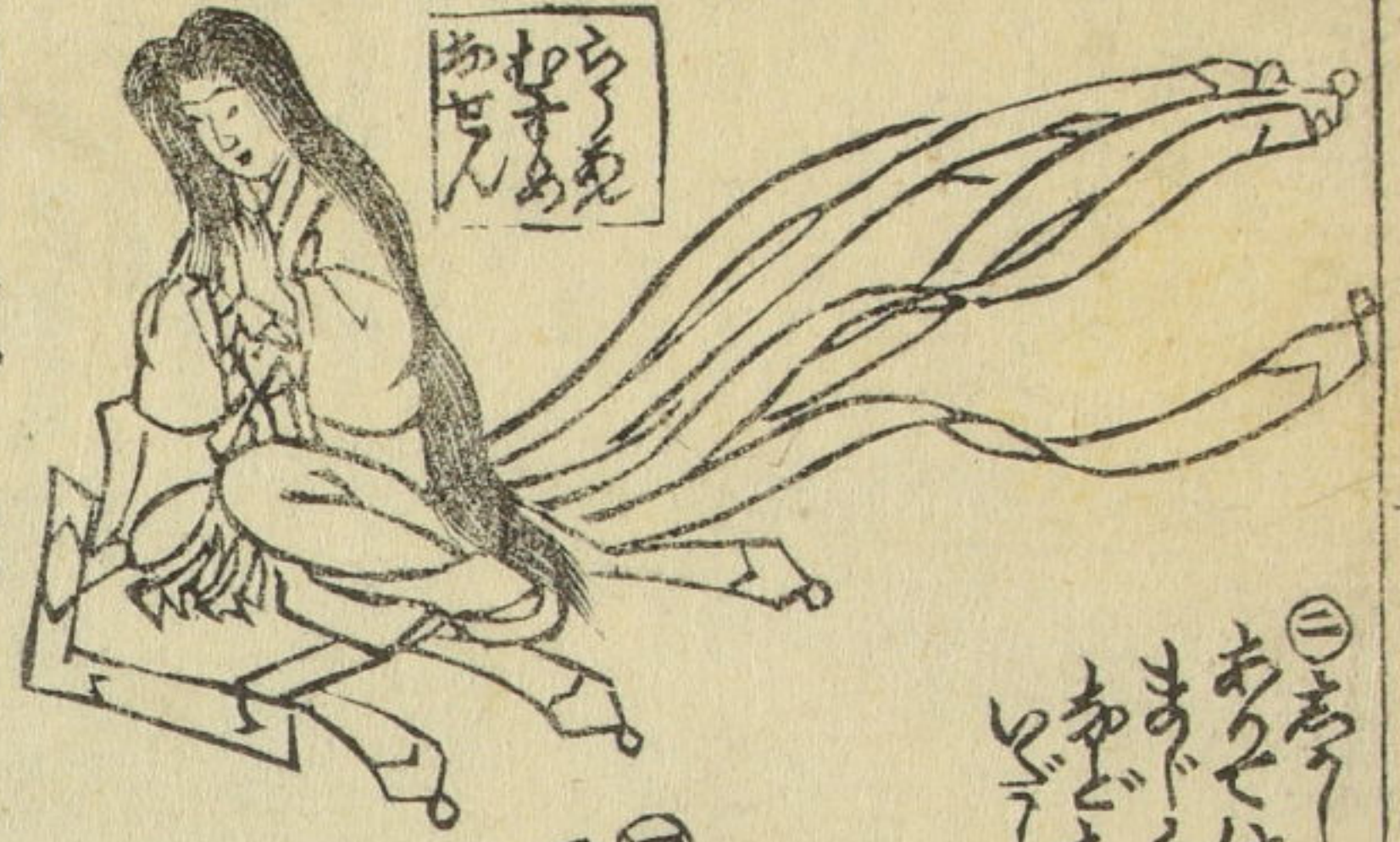
らうわん



おせんがうらや
らうわんがうらや
ありくとまを
きえうけり
うらやん
らうわん
さそい
おせん

おせんがうらや
らうわんがうらや
ありくとまを
きえうけり
うらやん
らうわん
さそい
おせん

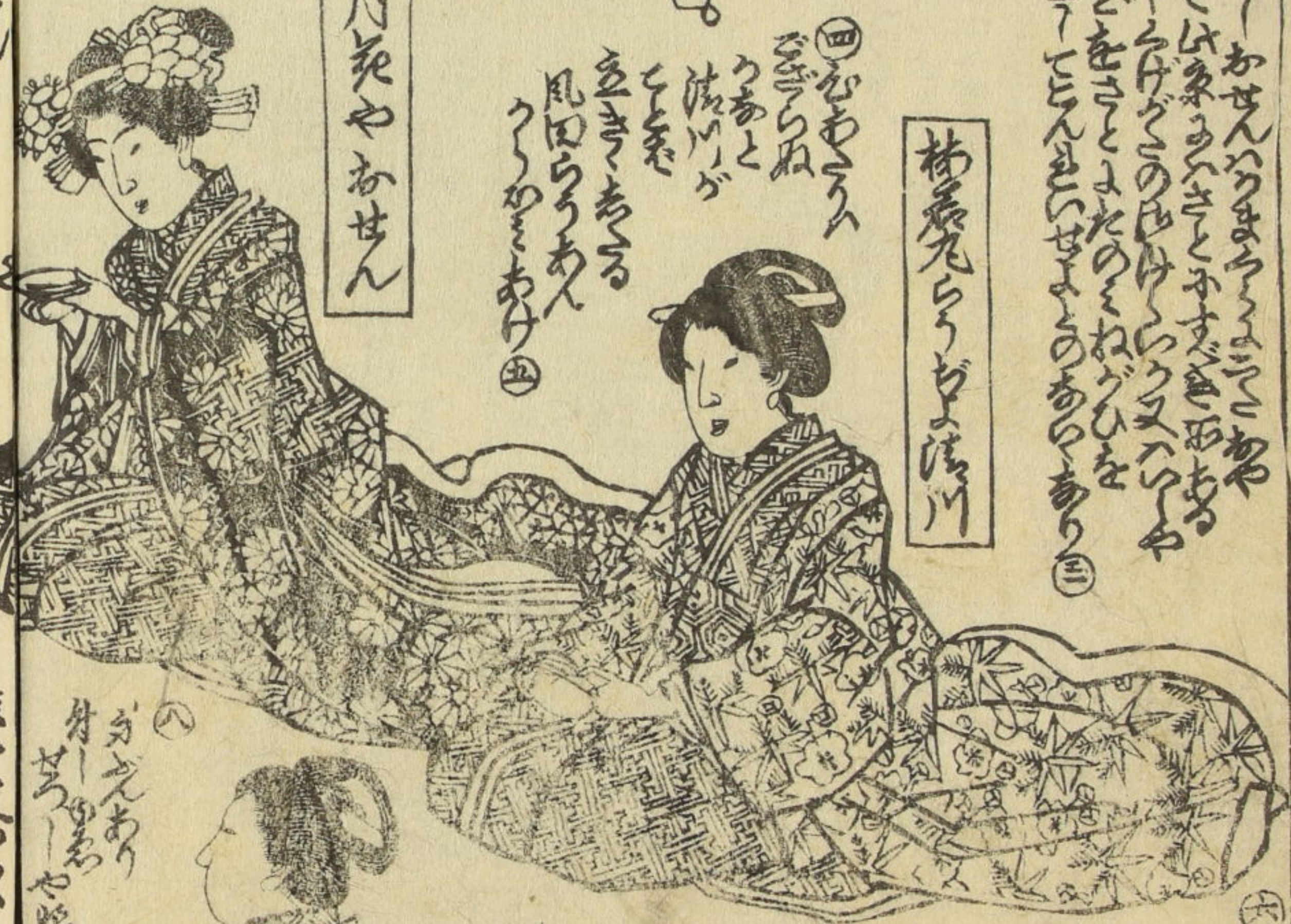
おせんがうらや
らうわんがうらや
ありくとまを
きえうけり
うらやん
らうわん
さそい
おせん



おせん

一代之おせん
きんぎょの夢
よはしの巻書丸
一糸五十貫一巻巻を
よきし氣血をよくのへ
小兒よはしは開いて
老壽する仙やあり
六十年らへひめ壽

①おせんはさうらうのついでに
あつとけきまのすけがさきさきあつと
まぶらげのむすびをうとつてわ
あどきとよたのねぐひを
とていふはしむさのあらあり③



おせん

おせん

④おせんは
うとつて
おせんは
さきさき
おせんは



おせんはさうらうのついでに
あつとけきまのすけがさきさきあつと
まぶらげのむすびをうとつてわ
あどきとよたのねぐひを
とていふはしむさのあらあり③

一葉わさひ白牡丹一色百見
おせんはさうらうのついでに
あつとけきまのすけがさきさきあつと
まぶらげのむすびをうとつてわ
あどきとよたのねぐひを
とていふはしむさのあらあり③



おせん

おせんはさうらうのついでに
あつとけきまのすけがさきさきあつと
まぶらげのむすびをうとつてわ
あどきとよたのねぐひを
とていふはしむさのあらあり③



おせんはさうらうのついでに
あつとけきまのすけがさきさきあつと
まぶらげのむすびをうとつてわ
あどきとよたのねぐひを
とていふはしむさのあらあり③



おせん

おせんはさうらうのついでに
あつとけきまのすけがさきさきあつと
まぶらげのむすびをうとつてわ
あどきとよたのねぐひを
とていふはしむさのあらあり③

つぎ... 竹取十六... 竹取十六へんをとり

竹取十六へんをとり

京山老人作 歌川芳虎画

歴世女装考 京山作



古図ありあせ 古書より

嘉永ヒ 甲寅春 新出版 絵目録

神刀波白鞆 仙果作

瀧櫻箱根朝露 雪住作

春服對佳賀紋 同 画作

糸櫻春蝶音縁 房健画

勝角力花の顔觸 五瓶画

御傳 撫實梅城記 仙果撰

音菊百物語 同 画作

書物繪双紙問屋 森屋治兵衛撰

